

Public Information Furubira

広
報

ふるびら

2014[平成26年]

6月号
No.463



5月4日 幼児センター 交通安全指導
(撮影場所：新地町 国道229号線沿い)

がんばろう！ふるびら特別対策事業

水産加工業はこれからも重要な産業です

水産加工業協同組合及び同組合に加盟する6社の経営破たんは、本町の経済に大きな打撃を与えました。

この危機を乗り越え活気あふれる古平町をつくるため、①「古平産タラコ」のブランドイメージを低下させないこと、②町民の働く場を増やすことを目指して各種の取組みを進めていきます。

これらの事業は、緊急に実施する必要があります。4月25日に開会された第3回古平町議会臨時会及び議

これまでの経過

| | |
|-------|--|
| 2月20日 | 水産加工協と同組合に加盟する6社が事業継続不能と新聞・テレビなどで報道される |
| 3月25日 | 水産加工協に加盟する2社が自己破産申請 |
| 4月7日 | 水産加工協と同組合に加盟する4社が自己破産申請 |
| 4月25日 | 「がんばろう！ふるびら特別対策事業」が全員協議会で概要説明、第3回臨時会で補正予算提案される |

会全員協議会で検討の結果「がんばろう！ふるびら特別対策事業（古平町水産加工業危機突破対策事業）」として決定されました。

■4つの項目を実施

「がんばろう！ふるびら特別対策事業（古平町水産加工業危機突破対策事業）」は水産加工業の破たんに伴う町内への影響を最小限に抑えて町全体の再生を図るため大きく分けて「雇用」「企業立地・起業支援」「町内経済」「水産加工業振興」の4つの項目で構成されています。

※すでに実施済みの事業は◆、新規事業は◇で表示しています。

雇用

◆離職者相談会

小樽公共職業安定所、労働基準監督署、年金事務所、後志総合振興局、札幌高等技術専門学院、積丹町などと共催し離職者に対する相談会を実施。

3月5日 文化会館 80人



離職者相談会の様子

◆要請活動

町長が後志総合振興局長とともに、雇用対策の要請活動を実施。

3月17日

余市町 商工会議所、建設業協会、農協、水産加工協、役場

仁木町 役場

◆◆緊急雇用創出事業（8,500万円）

離職者を雇用した上で地域のニーズに応じた人材育成を行う。

東しゃこたん漁業協同組合16人、大島水産10人、カネト水産7人、新

おたる農協6人を雇用予定。

◇環境整備業務委託（243万円）

離職者を雇用して道路、公園等の清掃業務を実施する。

普通作業員1名×150日

◆町職員採用

一般事務正職員1名、臨時職員3名を募集。

正職員、臨時職員各1名採用

企業立地・起業支援

◇固定資産税減免

製造業等で新たに設備の取得、増設をする場合に固定資産税を減免する。：6月定例会に提案予定

◇新規起業への補助

・国などが実施する補助制度の活用
 新規需要創造型起業・創業促進補助金（国が3分の2補助）の活用など新規起業への情報提供を行う。

・雇用奨励金

新規起業・再チャレンジする事業者への雇用奨励金を創設する。：6月定例会に提案予定

町内経済

◆◆プレミアム商品券（1,000万円）

年間を通して町全体の経済の底上げとなるよう商工会で販売するプレミアム率20%の商品券を2000組増額し販売回数も年2回に増やす。

4月30日～2000組

9月30日～3000組

水産加工業振興



プレミアム商品券販売

◇ふるさと納税（124万円）

町外の方から1万円以上の寄付があった場合、水産加工品（5,000円程度の品）を贈呈する。5社10品目の中から1品目選択。併せて町のホームページも目につきやすいように改修する。

◇広告宣伝（495万円）

・水産加工製品等のPR強化
年3回、旅行雑誌へのイベント告知と水産加工業者の記事を掲載する。

・割引クーポン券への補助

旅行雑誌に記事を掲載した際に事業者が添付する割引クーポン券にかかる費用を補助する。

・冊子型パンフレット作成

水産加工だけでなく読物として町

全体を紹介できるような冊子型のパンフレットを作成する。

・食材提供

札幌市内のホテル主催イベントへの食材提供を行う。併せて提供した食材を事業者が展示販売できるようにする。

・ポスター等の作成

観光と併せたポスター100枚、パンフレット8,000部、チラシ2,000枚を作成、配布する。



現在のパンフレット

◇販売促進（90万円）

・イベント出店支援

事業所がイベント等に出席する際の出店料を、10万円を上限に補助する。また、公的団体が主催するイベントに町職員も参加する。

・ご当地グルメ開発

ご当地グルメの開発に向け観光協会へ補助する。

■冷蔵庫の維持・運営

平成9年に建設された冷蔵庫については、事業者が水産加工業を継続する上で必要不可欠なものです。処分の方法は競売等の換価措置をとるか、町へ無償譲渡するかなど現在検討中で、最終的には裁判所が判断します。

冷蔵庫運営に係る収支実績や修繕計画の調査、各事業者の利用計画や経営状況等を把握し今後も利用できるように運営方針の検討をしていきます。



平成9年建設の冷蔵庫

■長い目で支援していく

今後、事業を実施していくとともに、詳細が決まっていない事業については早期に実施できるよう協議を進めていきます。また、離職者の再就職等の状況調査なども行い、長い目で支援を行えるよう対策を講じていきます。

第3回臨時議会にて審議された案件

4月25日の第3回臨時議会では、次の案件が審議されました。

〈議案第23号〉

〈原案可決〉

専決処分の承認 平成25年度古平町

一般会計補正予算（第9号）

現行予算に200千円を追加し予

算総額を35億2,952万3千円と

するものです。主な内容は地方債を

増額補正するものです。なお本案件

については、3月31日に町長の権限

で専決処分を行ったため、その承認

を求めるものです。

〈議案第24号〉

〈原案可決〉

平成26年度古平町一般会計補正予算

（第2号）

現行予算に9,931万9千円を

追加し、予算総額を32億7,831

万9千円とするものです。主な内容

は臨時福祉給付金費及び子育て世帯

臨時特例給付金費、がんばろう！ふ

るびら特別対策事業費を増額補正す

るものです。

〈議案第25号〉

〈原案可決〉

北海道町村議会議員公務災害補償等

組合規約の一部を変更する規約につ

いて

古平町も加入している右の組合の

構成団体に脱退や名称変更があり、

規約を変更するため、地方自治法第

290条に基づき、構成団体の議会の

議決を求めるものです。

防災ハンドブック 完成



災害が発生した際の危険箇所や避難場所を把握し、的確な避難ができるよう、地震や津波、風水害時の避難場所などをまとめた「防災ハンドブック」を作成し4月25日、全戸に配布しました。防災対策について確認し、分かりやすい場所に保管しておきましょう。

■4つの項目で構成

「地震・津波災害」「風水害・土砂災害」「災害への備え」「避難所一覧」の4つの項目で構成されており、「地震・津波災害」「風水害・土砂災害」ではそれぞれ避難マップのほか災害に対する予備知識や備えについて解説しています。



「地震・津波災害」

地震津波災害避難マップでは、平成22年3月に北海道が作成した「津波シミュレーション及び被害想定調査業務報告書」の津波浸水予測範囲、平成24年度に町内会とともに検討し作成した地域津波避難計画にもとづき、北海道の想定の高さの6mを要避難区域とし、町内全域の標高を6m、10m、20m、30mの4色の線で分かりやすく示しています。また、自宅の安全対策などの地震への備えや津波の仕組みなども記載しています。自宅の標高や近くの避難場所を確認し、いざという時「より早く、より高く、より遠く」へ避難できるようにしましょう。

「風水害・土砂災害」

風水害・土砂災害避難マップは、概ね50年に1回程度おこる大雨により古平川が氾濫した場合の浸水予測範囲、土砂災害の危険箇所を示しています。古平町では実際に平成22年7月に古平川が氾濫し、沢江・浜町地区では床上浸水などの被害がありました。風水害や土砂災害は急激に状況が変化する場合がありますので、日頃から3日間 は自活できる備蓄品や持出し品を準備しておきましょう。

「災害への備え」「避難所一覧」

防災・気象などの情報収集の方法や避難場所の一覧などが掲載されています。災害が発生したり、その恐れがある場合は、防災無線やテレビ、インターネットからの情報に注意するとともに、避難場所の確認を再度行うなど、災害へ備えましょう。

■危険箇所は想定される一例

今回の防災ハンドブックの津波・洪水の浸水範囲や土砂災害危険箇所などは想定される一例です。この予測を上回る規模の津波や洪水などが発生する可能性もあります。要避難区域や危険箇所外だからと安心せず、より安全な場所への避難を心がけましょう。

■身を守るには「自助・共助」

災害による被害を最小限にとどめるためには、町民一人ひとりが災害に備える「自助」、地域で協力して備える「共助」が重要です。家族や地域で危険箇所や避難場所などの確認、話し合いをし、いざという時に備えましょう。

◇お問合せ先

役場 総務課 防災対策係
☎ 42-2181 内線27

臨時福祉給付金 子育て世帯臨時特例給付金 が支給されます！

いずれの給付金も、平成26年から消費税率引き上げ（5%から8%）に際し、所得の低い方、子育て世帯への影響を緩和するための臨時的な給付措置です。

■申請受付及び給付時期

どちらの給付金も、申請受け付けを7月から、支給は7月末頃を予定しています。

臨時福祉給付金

◆支給対象者

平成26年度分の住民税が課税されていない方
ただし、次に該当する場合は除きます。

- ・課税されている方に生活の面倒を見てもらっている場合
- ・生活保護の受給者である場合 など

◆支給額

1人につき 1万円
加算対象者は1人につき5千円を加算します。

○加算対象者

- ・老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の受給者
- ※平成26年3月分の受給権があり、4月分または5月分の年金の支払いがある方が対象です。

子育て世帯臨時特例給付金

◆支給対象者

- ・児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者 など
- ※平成26年1月分の手当等を受給している方が対象です。

次のどちらの要件も満たす方

- ①平成26年1月分の児童手当又は特例給付を受給している方
- ※特例給付とは、所得が高額な方について、児童1人当たり月額5千円を支給しているものです。

②平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方
（両方の給付金に該当する方は臨時福祉給付金が優先されます。）

◆対象児童

支給対象者の平成26年1月分の児童手当・特例給付が対象となる児童
ただし、次に該当する児童は除きます。

- ・「臨時福祉給付金」の対象となる児童
- ・生活保護の受給者となっている児童

◆支給額

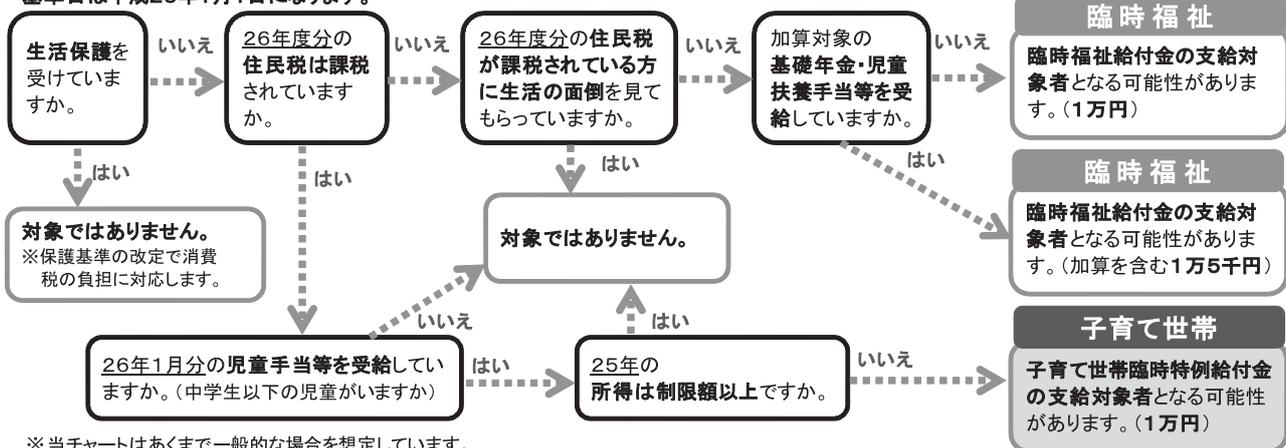
対象児童1人につき 1万円

◇お問合せ先

役場 民生課 福祉係
☎ 42-2181

対象者診断チャート

基準日は平成26年1月1日になります。



※当チャートはあくまで一般的な場合を想定しています。

B & G海洋センタープール

6/1いよいよオープン!!

オープン初日は町民限定で無料開放します。

プール開放期間：6月1日(日)～9月30日(火)
毎週月曜日はお休みします。

(但し、7/21海の日と9/15敬老の日は開放します)
プール開放時間：午後1時～午後8時30分

利用料金

| | | |
|-------|-------|--------|
| 1日券 | 高校生以上 | 50円 |
| 1日券 | 小・中学生 | 20円 |
| シーズン券 | 高校生以上 | 1,000円 |
| シーズン券 | 小・中学生 | 500円 |

その他

- ・水泳帽は必ず着用してください。
- ・幼児が利用する場合は、必ず保護者同伴でお願いします。
(幼児は無料ですが、保護者利用料50円がかかります)
- ・監視員等の指示に従い、利用上の注意を守ってください。
- ・オムツ等のとれない幼児の利用はできません。
(プール用オムツ使用不可)

お問い合わせ先：古平町B&G海洋センター ☎42-2300

狩猟免許取得助成

についてのお知らせ

町では、年々増加するヒグマ、キツネなどによる農林業被害防止のため、地元猟友会に協力をいただき捕獲・駆除業務を行っておりますが、会員の高齢化が進み担い手の確保に苦心しています。

そこで、平成26年度より有害鳥獣捕獲・駆除に必要な網猟・わな猟・銃猟の狩猟免許を新たに取得して、捕獲・駆除従事者として活動される人に取得に要した費用の一部を助成します。

■助成金額

- ・網猟、わな猟狩猟免許 5,000円
- ・第一種銃猟狩猟免許 70,000円

※取得費用が右記金額に満たない場合は、取得費用が上限となります。

◇お問い合わせ先

役場 産業課 農政係
☎42-2181 内線53

■交付対象者

- 次の要件をすべて満たす者
- ・町内に住所を有する者
 - ・網猟、わな猟、第一種銃猟狩猟免許を取得した者
 - ・北海道猟友会余市支部古平分区に入会した者



経済センサス基礎調査 商業統計調査を実施します

◆平成26年7月1日に、経済センサス・基礎調査と商業統計調査を一体的に実施します。
◆全国のすべての事業所及び企業が対象になります。
◆調査の結果は、国及び地方公共団体における行政施策の立案や、民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く利用されます。
◆調査票に記入していただいた内容は、統計法に定められている利用目的



以外（徴税資料など）に使用することは絶対にありませんので、安心してご提出ください。
◆皆様の調査へのご理解・ご回答をよろしくお願いたします。
総務省・経済産業省・北海道・古平町



古平漁港東しゃこたん 漁協祭 開催！！

平成26年度古平漁港東しゃこたん漁協祭が次の日程で開催されます。

◆日時

6月15日、29日、

7月27日、9月21日

午前9時～売切れ次第終了

◆場所

東しゃこたん漁協生産部前

鮮魚・えび、うに、水産加工品、野菜、果物のほかツブなどの串焼きなどが販売され、買った鮮魚などを焼いて食べるコーナーもあります。

6月～7月にはうに井も販売されます。ぜひ、ご来場ください。
◇詳細・お問合せ先
東しゃこたん漁協生産部
☎0135-42-2518



昨年の漁協祭の様子

【特設人権・困りごと相談所】 開設のお知らせ

日時 平成24年6月3日（火）

午前10時～午後3時

場所 文化会館（南寿）

小樽人権擁護委員協議会では、今年度も「特設人権・困りごと相談所」を開設します。

人権問題、結婚・離婚・夫婦・親子等の問題、不動産・金銭のトラブル、うわさ・暴言等によるいやがらせなど、その他日常生活の様々な問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

相談は、小樽人権擁護委員協議会の会員である古平町の人権擁護委員がお受けします。内容等の秘密は固く守られ、相談料は無料です。

〈古平町人権擁護委員〉

○西館 昌巳さん ☎42-2585

○田畑 正さん ☎42-2179

○坂下 肇一さん ☎090-1385-3905

相談所は古平町以外でも開設されていますので、左記にお問い合わせください。予約の必要はありません。

◇お問い合わせ先

札幌法務局 小樽支局

☎0134-23-3012

水道料金の軽減申請

次の要件に該当する世帯は、申請をすることで水道料金が軽減（以下「減免」）されます。

※既に水道料金の減免を受けている方は、改めて申請する必要はありませんが、減免される要件を満たさない場合は、速やかに届けをする必要があります。

〈要件〉次の①～⑤のいずれかに該当する世帯で、住民税が非課税世帯

- ① 70歳以上の独居世帯
- ② 母子又は母子世帯に準ずる世帯
- ③ 生計の中心者が身障手帳1級又は2級を所持している世帯
- ④ 妻が生計の中心者で、身障手帳1級又は2級を所持する夫を扶養している世帯
- ⑤ 災害等で生活困窮している世帯

〈減免内容〉一般家庭用月額基本料金を200円軽減します。（基本料金を2200円→2000円）

◇お問い合わせ先

建設水道課 水道管理係

☎42-2181（内線50）

交通死亡事故ゼロ3000日達成

北海道交通安全推進委員会、余市警察署から表彰

3月28日に交通死亡事故ゼロ3000日を達成したことから、4月18日、役場町長室で表彰状の伝達式が行われ、北海道交通安全推進委員会より町の交通安全推進委員長である本間町長に表彰状などが贈られました。

町内の交通死亡事故は平成18年1月9日に起きて以来、現在まで8年3カ月起きていません。

表彰状を贈呈した北海道交通安全推進委員会三田村事務局次長は「夏になるとレジャーなどで観光客も相当訪れると思うが、これだけ長い期間続けることができたのは町や町民の皆さんの意識が高いということ。これからも4000日、5000日と続くよう頑張つてほしい」と激励しました。

また、4月28日には札幌方面余市警察署青山卓生署長からも感謝状が贈られました。感謝状を受け取った本間町長は「これを機に、より一層町と町民、警察が一致団結して記録

が伸びるよう、交通安全の推進に取り組んでいきたい」と述べました。



北海道交通安全推進委員会より表彰状贈呈



札幌方面余市警察署より感謝状贈呈

昭和の日 町内二日づきみ拾ひ

B&Gクリーンフェスティバル

4月29日、冬期間、雪に埋もれていたごみを拾う毎年恒例の「クリーンフェスティバルinふるびら」が町内一円で行われました。

海洋スポーツを町民へ普及促進している古平B&G海洋クラブの主催で、おおよそ西部方面60人、浜町方面120人の合わせて180人の町民が参加しました。

開会式ではB&G海洋センターの佐々木センター長が「冬の忘れものであるゴミを拾ってきれいな町にしましょう」と参加者に呼びかけました。



参加者は公園や路上のごみを約1時間かけて拾い集めました。集まったごみは空缶やペットボトル、プラスチックの容器などが主でおおよそ550キロにもなり、中にはママサンダンブやスコップ、鉄くずといった大きなごみもありました。

参加者の金澤直子さん(旭町)は、「毎年参加している。ごみを拾って町がきれいになるのはいいこと。年に一度だけでなく、何度かできたらもっといいのでは」と話してくれました。



元気で強い子になりますように

幼児センターみらい こどもの日の会

5月2日、幼児センターで、こどもの日の意味を知り、会を楽しむことを目的に「こどもの日の会」が開かれました。

ほし組からたいよう組までの全園児が参加し、こどもの日の雰囲気を楽しみました。

会では初めに村上京子保育士が「鯉は川や滝を上るとつても元気なお魚です。みんなにも強くて元気な子になってほしいのでこいのぼりを飾ります」とこいのぼりの由来を説明した後、「こいのぼり」の歌を全員で歌いました。

町の出来事



事前に画用紙や折り紙を使って作成したこいのぼりの紹介も行われ「折り紙で風車を作るのが難しかった」「うろこの色を塗るのが上手にできた」など、園児たちは難しかったところ上手くできたところを発表しました。

「こいのぼり」の歌に合わせて踊り、4、5歳児はゲームもして会を閉じました。

たいよう組の平尾歩睦くんは「こいのぼりも上手に作れたし、踊ったりして楽しかった」と元気に話してくれました。

65年前の大火を繰り返さない

古平消防団消防演習が行われる



5月10日、北後志消防組合古平消防団は文化会館前駐車場で消防演習を行いました。この消防演習は、65年前の昭和24年5月10日、西部方面一帯720戸を焼き尽くし、死者2人、負傷者52人、焼損面積10万3274㎡という大惨事を起こした「古平の大火」を教訓として毎年行われています。

演習では30人の消防団員が、放水競技や模擬火災訓練等に真剣に取り組んでいました。町内の公園2箇所で大炎が発生したという想定で模擬火災訓練では、団員らは本番さながらの真剣な表情で行動していました。

会場を文化会館内に移動してから本間町長は「地域の安全の要は消防

団にある。いかなる災害等にも対処できるよう日頃の訓練をがんばってほしい」と団員らを激励しました。

最後は高野俊和団長が「若い団員が増えたが、町民の期待に応えられるよう日々訓練を重ねて精進する」と誓いの答辞を述べていました。

◆平成26年度古平消防団表彰状伝達者
 日本消防協会会長表彰 30年勤続
 ▽副団長 岩谷英春 ▽分団長 笠井信一 ▽副分団長 清水禪 ▽部長 山田裕幸 ▽班長 渡邊祐士 ▽班長 大島敏昭



4/22 (火)

「小6と中3、学力テストを受ける」～全国学力・学習状況調査



学力テストを受ける小学6年生

4月22日、小学6年生と中学3年生を対象とした文部科学省の全国学力・学習状況調査（通称「学力テスト」）が全国一斉に行われ小学校16人、中学校の25人がテストを受けました。

テストは国語、算数・数学の2教科。それぞれ基礎的知識を問う「A問題」と知識の活用力をみる「B問題」が行われました。また併せて家庭での勉強や生活環境についてのアンケートも行われました。

古平町は昨年の学力テストで中3は国語・数学共に全道・全国平均以下、小6は全道平均は上回っていましたが全国平均以下でした。

今年の平均正答率は管内別に11月頃発表される予定です。

4/30 (水)

「今年もプレミアム率20%で販売」～商工会プレミアム商品券発売



販売初日の文化会館の様子

町内商店での購買力のアップをねらいとした商工会プレミアム商品券が4月30日、文化会館と漁港会館で売出し、大勢の町民が買い求めました。

プレミアム率は20%で、五百円券と千円券を組み合わせた1組1万円の2000組を販売しました。年金受給者や歩行困難者は事前予約が可能で、予約した方に限り商工会で配達も行いました。

販売初日は両会場で1412組が売れ、1時間ほど前から並んでいる人がいるほどでした。

9月にもプレミアム率20%で3000組を販売予定です。

5/9 (金)

「町へ緑の羽根募金贈呈」～古平中学校



「緑の羽根募金」を手渡す坂下あかりさん

5月9日、役場町長室で古平中学校の生徒が古平町へ「緑の羽根募金」を贈る贈呈式が行われました。

この「緑の羽根募金」は古平中学校の生徒たちが、学校内で募金活動をして集めたものです。

生徒を代表して3年生の生徒会長である坂下あかりさんから「学校で4月21日から25日まで5日間かけて、4,764円集めました。自然保護のために少しでも役立ててください」と本間町長へ贈られました。

募金を受け取った本間町長は「海や森のために大事に使いたいと思います。本当にありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

国や道などからのお知らせ

【各種自衛官等の募集】

○自衛官候補生(男子)を募集します。

◇お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部 小樽地域事務所(小樽市稲穂2-22-4 樽石ビル2F)

☎0134-22-5521

【不法電波をシャットアウト!】

もしも電波にルールがなかったら:例えば航空機や消防車・救急車の安全な運行もできず、安心な携帯電話の利用もできなくなります。

総務省北海道総合通信局では、電波監視を実施し、適正な電波環境を守っています。電波に関する困りごとや相談は、左の問い合わせ先までご連絡ください。

○電話受付時間 午前8時30分～

正午、午後1時～午後5時(土・日・祝日を除く)

◇お問合せ先

北海道総合通信局

☎011-737-0099

メール:Souidan-hokkaido@soumu.go.jp
北海道総合通信局HP

http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/

【6月は「外国人労働者問題啓発月間」です!】

国内で就労している外国人は多くありますが、その就労状況をみると、社会保険等の未加入や適正な労働条件が確保されていない等の問題が散見されます。このような状況を踏まえ、外国人を雇い入れる際は、次の3点をご確認ください。

- ①就労が認められる在留資格であること
- ②雇入れ・離職の際には、それぞれハローワークに届出を行うこと
- ③社会保険等の加入をはじめ適正な雇用管理を行うこと

なお、厚生労働省では雇用対策法に基づく、外国人労働者の適正な雇用管理のための指針を定めています。外国人を雇用する際はルールを守って適正に雇用するようお願いいたします。

お問い合わせは、お近くのハローワーク又は労働基準監督署まで。

◇お問合せ先

ハローワークよいち

☎22-3288

小樽労働基準監督署

☎0134-33-7651

【新規高等学校卒業予定者(平成27年3月卒)の採用をお願いします】

平成27年3月高校卒業予定の多く

の生徒が地元での就職を希望しておりますが、新卒者を取り巻く雇用環境は依然として厳しい状況にあります。

地元で就職し、地域で活躍することを願う優秀な若い人材が沢山おります。

ハローワークでは、6月20日から平成27年3月卒業予定の生徒を対象とする新規学卒求人受付を行っております。若い人材を活かし地域の活性化を図るとともに、若者の自立を促進するためにも、地元企業・関係団体からの求人提出を是非ご検討願います。

未来を担う若者の積極的な採用につきまして、事業主各位のご理解とご協力をお願いいたします。

求人のお申込みはお近くのハローワークまで。

◇お問合せ先

ハローワークおたる

☎0134-32-8689

ハローワークよいち

☎22-3288

【全国一斉「子どもの人権110番」強化月間のお知らせ】

6月23日(月)から6月29日(日)までは、全国一斉「子どもの人権110番」強化月間です。

いじめ、虐待、インターネットを悪用したプライバシー侵害など、子

どもの人権に関する悩みごとや心配ごとについて、法務局職員や人権擁護委員が時間を延長して相談に対応します。

相談は無料で、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

◇相談時間

- ・6月23日(月)～27日(金) 午前8時30分～午後7時
- ・6月28日(土)・29日(日) 午前10時～午後5時

◇相談・お問合せ先

(全国共通フリーダイヤル)
☎0120-007-110

【ご存知ですか? 国民年金基金】

国民年金基金は、自営業の方やフリーランスの方など国民年金の第1号被保険者で保険料を納めている60歳未満の方が加入できる国民年金の上乗せ年金として創設された公的な年金です。

※平成25年4月から60歳以上65歳未満の方で国民年金に任意加入されている方も加入できるようになりました。

詳しくは左の問い合わせ先までご連絡ください。

◇お問合せ先

北海道国民年金基金

☎0120-65-4192

新年度の志新たに活躍を誓う

古平野球スポーツ少年団結団式

4月19日、小学校体育館で古平野球スポーツ少年団の結団式が行われました。

団員は古平小学校12名と美国小学校7名の児童で構成され、式には11名が出席しました。

式では丸岡哲也団長（古平小学校教頭）が「上手になるためには自分で考えながら行動し、自分のことだけでなく対戦相手のことも考えて練習や試合に臨むことが大事です。また、保護者の支援があつてのものです。お父さんお母さんに感謝しながら、この町の代表として頑張ってください」と呼びかけました。

副キャプテンの美小6年の岡本夏樹くんは「お父さんお母さん、ユニフォームの洗濯や送迎を今年もよろしくお願いします。勝てるチームになるように一所懸命頑張ります」と決意表明をしました。

工藤大樹監督（美国小学校教諭）は「今年のチームは6年生が少なくこの冬キャッチボールから始めた子もたくさんいる。温かい目で見守ってほしい」と話してくれました。

式後、団員は中島スポーツレク広場グラウンドで練習を行いました。



決意表明する岡本夏樹副主将

4月27日には今シーズン初めての公式試合「スポニチ旗争奪小樽・札幌はまなす協会・後志少年軟式野球大会」に出場しました。小樽の入船フェニックスと対戦し、0対7のスコールド負けとなってしまいました。が、随所にいいプレーもありました。今後も各種大会に出場予定です。

団員紹介



背番号 **2**
佐藤 大海
美国（5年）



背番号 **3**
上口 麗
古平（6年）



背番号 **7**
木村 洸優
古平（6年）



副主将 背番号 **1**
岡本 夏樹
美国（6年）



主将 背番号 **10**
小林 颯
古平（6年）



背番号 **8**
荒谷 波音
古平（4年）



背番号 **9**
川島 海琉人
美国（4年）



背番号 **4**
西内 陸斗
古平（4年）



背番号 **6**
入間川 海星
美国（5年）



背番号 **5**
成田 覚理
美国（6年）



背番号 **18**
田中 大聖
古平 (3年)



背番号 **14**
古川 真郷
美国 (4年)



背番号 **13**
中村 日菜
古平 (4年)



背番号 **12**
野村 咲月
古平 (4年)



背番号 **11**
上野 杏奈
古平 (4年)



背番号 **19**
井端 琉翔
古平 (1年)



背番号 **17**
入間川 柊空
美国 (2年)



背番号 **16**
木村 柑菜
古平 (2年)



背番号 **20**
井端 大翔
古平 (3年)

【新規採用職員】

生れ育ちお世話になって来た古平町で、これからは役場職員として1日も早く仕事を覚え町民の方々の役にたてるよう、1日1日努力していきたいと思えます。
今後は様々な場面で町民の方々とお会いする機会も多いと思いますので、よろしくお願いたします。



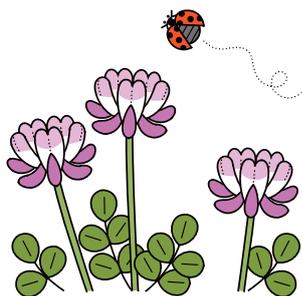
産業課商工観光係主任
澤口 達真
(古平町出身)

町職員の人事異動

□ 5月1日付 ※ () は前職

【産業課】

▼ 商工観光係 (新規採用) 澤口達真



ふるびら
元気っ子

町内に住む満1歳になる子どもを紹介します。
今月号は5月に誕生日を迎えた子どもです。



しゅん ちゃん
齊藤 駿
5月1日生
保護者 聖人さん
朝子さん
(れい明の里)

(朝子さんより)
思いやりのある優しい子に育ってほしい

いきいき・ほのぼのの文芸

古平町岬短歌会

残雪も四月となりて先急ぐ活れの多き姿消したく
庭先に色とりどりのクロッカス春の訪れ早も告げをり
高台に住居移せし友ありて仲間と訪ねこもこ語る
初めての丘の住まひをわが町を穩しく照らす今日の満月
朝餉時厨の窓に差す光今日一日を励ますやうに
春なのにまだ降り積もる淡雪は身の丈ほどの雪壁となり
春彼岸積りし雪を掻き分けて父母の墓前に花を供へぬ

泉 清三
金子 寿子
坂本 信子
鈴木 時子
田中 香苗
寺田 カツ子
仲谷 喜美能



古平俳句会

春の海波折れ易く立ち難き
いささかの日差しに光る春の海
渡辺 嘉之

過疎化めく里を彩る初桜
日本海渾日の蒼さつづきけり
室谷 弘子

うららかな夢亦夢のくじ売場
美しきかな文字見せて名は春草
山口 悦子

人生を多く語らず蜩汁
雪止んでにはかに春の兆しかな
仲谷 比呂子

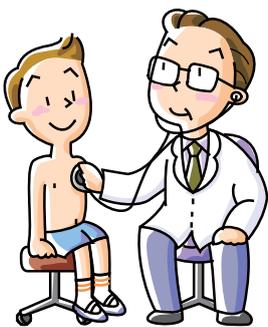
花冷えや今の暮しを決めかねて
山の端の遠くに消ゆる春の雲
高橋 重子

磯波の響き静かに春の朝
ペンダント一寸ほどの桜貝
山口 哲



6月の休日当番病院

- ◆6月1日(日)
勝田内科皮膚科クリニック
(☎22-3843)
 - ◆6月8日(日)
中島内科(☎22-3866)
 - ◆6月10日(火)
勤医協余市診療所(☎22-2861)
 - ◆6月15日(日)
ながい小児科医院(☎23-6881)
 - ◆6月22日(日)
田中内科医院(☎22-6125)
 - ◆6月29日(日)
小嶋内科(☎22-2245)
- ※当番医の診療時間は9時～17時まで
※夜間については余市協会の病院で急患
に限り診療しております。
- 診療時間 午後6時～翌日午前7時
診療科目 内科、小児科、外科、
整形外科



ご寄付いただき誠に
ありがとうございました(敬称略)

◎現金
100,000円
前田 勝治(沢江町)

おたんじょうおめでとう

氏名 生年月日 保護者 町内
阿部 心咲ちゃん 4・12 峻一さん 旭町
真浦 美月ちゃん 4・22 大輝さん 港町

ご冥福をお祈りいたします

| 氏名 | 年齢 | 死去月日 | 町内 |
|---------|-----|------|-----|
| 服部 定一さん | 83歳 | 4・25 | 浜3 |
| 村上 トシさん | 86歳 | 5・5 | 浜3 |
| 上野 次雄さん | 90歳 | 5・7 | 泥の木 |
| 鈴木 満さん | 81歳 | 5・8 | 御崎町 |

町の人口と世帯数

| | 前月比 |
|-------------|------|
| 人口 3,462人 | (+8) |
| 男 1,628人 | (+6) |
| 女 1,834人 | (+2) |
| 世帯数 1,861世帯 | (+9) |
| 外国人 23人 | (0) |
| 男 2人 | (0) |
| 女 21人 | (0) |

(平成26年4月末日現在住民基本台帳人口)